

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺西BTS-B区画物流センター	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市西区築港新町2丁7番12	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,180時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年3月7日
敷地面積	18,096 m <sup>2</sup>	作成者	佐藤 毅
建築面積	9,490 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月7日
延床面積	18,810 m <sup>2</sup>	確認者	佐藤 毅



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 室内については内装材の耐用年数の長いものやF☆☆☆☆を使用し室内環境に配慮した。 室外については敷地や植栽条件に応じた適切な緑地づくりをした。 敷地外環境では駐車場、駐輪場スペースや形状に配慮した。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 内装材は全てF☆☆☆☆、VOCの使用は無しすることで室内環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い配管材を採用した。また、主要内装材についても耐用年数の長いものを使用した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行った。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用するなど、設備の高効率化を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材が容易に分別できる設計にした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車場、駐輪場スペース、荷捌き用車両の駐車施設を設けた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺西BTS-B区画物流センター新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市西区築港新町2丁7番12	1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 18,810.45 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
省エネ対策	3	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.7	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	5.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		2.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		1.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	